

東北風景写真家協会会員向け会報「東風季報」の創刊号です。当会報は会の行事、お知らせ、セミナー開催時の講演内容の要約等を掲載いたしてまいります。

東風季報

創刊号
2007年7月15日
発行所
東北風景写真家協会
編集 進藤 弘融



竹内正顧問

厳しい生活環境の中で自然に癒しを求めていく人々が増えていきます。この美しい日本の風景を記録して多くの人に鑑賞してもらい、癒しの世界を分かち合うことは、風景写真を志す写真家にとって望外の喜びとなることでしょう。

会報発行にあたって 顧問 竹内正

また人間の生活の為に破壊されて行く自然を記録して後世に残すことも我々の責務と考えております。全国的な風景写真の会は数多くありますが、地域に密着して日常活動できる会が欲しいとの要望が、数多く寄せられておりまし

顧問 竹内正



鈴木登会長

うつつしい梅雨時ですが、会員の皆様に於かれましては益々ご活躍のこととお喜び申し上げます。さて、今から二年前、東北風景写真家協会の話が持ち上がり、いろいろ試行錯誤して現竹内顧問様始め有志各位様のご協

東北風景写真家協会

第一回会報発刊に寄せて

鈴木登会長のご挨拶

により、一年前に設立の運びとなりました。これは現会員様のご協力の賜物と感謝致しております。設立の趣旨は会則にもあります様に特別難しい条件は付けず、

椎名亮介顧問セミナー



椎名亮介顧問

鈴木会長のご挨拶。「本日は椎名亮介先生のスライド&トークを開催いたしました。先生のお話を全部憶えようとすると中々憶えられませんが、一回一つずつ憶えていって、実際にテストをするなりして実行してみても、自分のものにしていくって戴きたい。

竹内敏信最高顧問祝電



東北風景写真家協会設立総会時に頂戴した祝電

新しい写真の波、東北風景写真家協会の設立おめでとうございます。二十一世紀の日本の風景が、これを軸にして、いっそう輝く事を祈っています。

私、十三年前大阪から、福島県にやってまいりました。現在は、福島県を中心に東北の自然を楽しみながら撮り歩いております。プロということで、沢山の写真を撮りますが、なかなか自分でも満足するものが撮れていないと言ったのが本音です。さて、今日の本題に入る前に風景写真について話してみたいと思っておりますので、少しお時間を下さい。

お知らせ

第一回写真展
開催日程
が決定しました。

場所：富士フオト サロン仙台

日程：11月30日～12月5日

作品：一名一点

（東北風景写真家協会）第一回写真展の開催が決定しました。新しい写真の波、東北風景写真家協会の設立おめでとうございます。二十一世紀の日本の風景が、これを軸にして、いっそう輝く事を祈っています。

この特性を描写して美しい画像を再現することです。

次に大切な事はバランスよい画面作りです。私は元来グラフィックデザイナー志望でしたので、ついついデザインするという言葉が口に出ます。写真で言う構図(画面構成)ですね。

画面作りで大事にしていることは、空間処理です。つまり画面の中に占める空間の処理(バランス)です。

主役、脇役その他いろいろな要素が画面の中にあるわけですが、それを空間の中にバランスよく構成させるといふ仕事、これは写真撮影にとって、大事な要素の一つですね。

もう一つのバランスに、色のバランスがあります。どの色をどの位の比率にするか?その色をどの位盛り込むか?大切な要素です。

これは各人が感性を磨くことによりベストになります。また、沢山とすることで得られることです。ここまで来ますと風景写真は完成に近づきます。

最後の要件は、心を写すということです。作者は常に、こんなイメージで、こんな想

い・作品の中に映しこむか?というところが最終的に大事ではないかと思いませんか。

それには、どういうことが必要かと言うと、これもすべて、基本が大切です。どんな焦点距離のレンズを使って、絞りはどのくらいにする?シャッター

スピードはどの位にする?どんな光で撮るか?逆光か、反逆光か?どんな時間帯で撮るか?どんなシャッターチャンスで撮るか?このように、いろんな条件が決まって、作者の心が写し込めるのではないのでしょうか。

大切なことは、基本的な要件をギリギリまで挑戦して決定する情熱、これがないと自分の心を写し込みたいというものには繋がらないと思います。

よく言う、数打てば当たるは、とんでもないことです。重ねて言いますが自分のイメージや想いを少しでも作品の中に写しこむという努力を惜しんではいけません。

これは最も大切な要素の一つです。以上が素敵な風景写真を撮る条件の全てじゃないかなーと思いませんか。

この後スライドを映しますが、今までの、話の全てを満たしている作品は、残念ながら数点しかありません。ほとんどが60~70%の出来というところでは、言い訳になります。自然の条件で創り出す作品なので100%は難しいですね。



福島県・白河市・南湖公園

この後、椎名顧問の素晴らしい風景写真のスライドを拝見し、併せて、日本で最初の日本庭園である南湖公園の美しい風景と撮影ポイントをご指導いただきました。会員の皆様にも少しもご参考になり、良い作品作りを生かして頂ければ、幸いです。

椎名顧問様本当に有難う御座いました。(会員の皆様、いつも大きい

当会の役員を紹介致します

副会長 渡邊善夫



東北風景写真家協会の皆様、いつも当協会運営に際しまして、ご指導ご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

副会長 進藤弘融



協会発足以来早くも一年が経過しようとしております。その間に富士山撮影会、上高地撮影会等個人では中々行けない所に撮影に行く事が出来まして、鈴木会長・竹内顧問にはいつも感謝しております。今後とも魅力ある撮影地へ行けます様宜しくお願いいたします。

幹事 秋葉健一



な身体と機材でご迷惑をおかけしています。当会も発足以来は一年近くになり、会員数も大型バス2台必要な位の会員数になりました。今後も鈴木会長・竹内顧問の基、微力ながらお手伝いをさせて頂き、会の発展に努めてまいりますので、会員の皆様にもお力添えをお願い申し上げます。

幹事 丸山慎一



若い頃から、野山を歩きながら、ついでに写真も写してきました。写真を通して学んだ人と人の繋がりを大切にしていきたい。

幹事 宇和野たみあ



東北風景写真家協会が発足して初年度からこの様な季刊紙が発刊されることは関係各位のたゆまない努力の成果と心より敬意を表します。私達は東北の風景をこよなく愛し、この偉大なる自然を後世に残す使命を負っており、そしてそれを写真に残し、多くの方に見せる事が出来ると思っ

監事 北村幸一

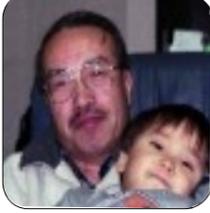


定年という現実を意識し始めた頃、学生時代にやっていた写真をもう一度やり直してみたいと思い、NHK泉文化センターの土曜の夜の教室に入りました。そこで竹内先生との運命的な出会いとなり、先生独特の「人をその気にさせる指導」の下早五年、益々写真の面白さ、奥深さにはまり込み、仕事と写真の比重が完全に逆転している今日この頃です。性格的には「右向け左!」のA B型(一説には芸術家型竹内先生も同型)なので、常に「他人とは異なったもの見方」を

会計 渡辺セツ



監事 佐々木康照



カメラを通しての自然との出会い、いろいろな方との出会いが大好きです。素人ですがよろしくお願いたします。(吉田大作さんには山形県での幹事役をお願いいたしております。)

遊覧ツアー

当会では年間四回の写真撮影ツアーを予定しておりますが、その柱は、(株)ワールドワン旅行センター(旧メモリー旅行)と竹内顧問・鈴木会長が講師として企画し、東北風景写真家協会が協賛している撮影ツアーとなりま

ギャラリー案内

- 7/18~22 仙台ハッセルブラッドクラブ 展示発表会 ギャラリーS
- 7/31~8/5 第4回けやきの会写真展
- 8/6~10・2007年 ライカクラブ 仙台写真展 ギャラリーN
- 富士フォトサロン 9/21~10/3 竹内敏信写真展・熊野古道

新年度年会費納入のお願い!

10月より新年度に入ります。従来、鈴木会長宛に納入して頂いていましたが、銀行の口座にお振込み戴ければ大変助かります。是非ご協力下さいませお願いいたします。(振込先)七十七銀行 旭ヶ丘支店 (口座番号)280-5272599 (口座名)東北風景写真家協会 会計:渡辺セツ (会費)半期:1500円 年間:3000円

次号より「譲ります」コーナーを開設いたします。是非、何か御座いましたら事務局までご連絡下さい。